

「ならなぎ よりみちクラブ」活動報告

報告者： 玉尾 ひとみ

日時	2025 年 4 月 22 日 (火) 10 時 00 分 ～ 15 時 00 分	天候	晴/曇	コース名： 第 55 回よりみちクラブ
案内団体又は催 事名	六甲高山植物園及び山上の植物観察会			人数 大人：14 名

集 合：六甲ケーブル下 9 時 40 分

ガイド：六甲案内人の会 長尾さん(シニア 23 期)

行 程：六甲ケーブルで山上駅 天覧台 → 神戸ゴルフ場 → 3 分岐路 → 森のミュージアム →
六甲高山植物園西入口・・・(同園学芸員による見頃の植物ガイド 園内で昼食 自由観察)・
14:00 東口より退園(3 人バス利用) → みよし観音 → 神戸ゴルフ場 → 六甲ケーブル山上駅 解散
15:00 のケーブルで下山

出席者…木邨・堀内(け)・北川・村上・上森・玉尾(洋)・山口・玉尾(ひ)・武田・田中・米村・中谷
中村(和)・橋本 計 14 名・・・順不同・敬称略

【六甲山の特徴】長尾さんより説明有り

- ・1700種の植物が自生し、近隣の山に比べて植生豊か。
- ・雨が多い。高度が上がるほど降水量は多くなり、山麓がよく晴れていても山頂は雨が降っていたり霧におおわれていることが多い・
- ・標高は 931m であるが、現在も年間 1mm 高くなりつつある等、変動を続けている。

【植物園までの路上で観察した植物】

ジンバリ(別名:イワニガナ)・アケビ(雄花と雌花)・ムベ・センボンヤリ・ミズキ(横に広がる枝)
オオヤマザクラ(青森県と同じ時期に咲く、桜餅の皮、桜の葉に蜜腺があるのは、アリを呼ぶため→
アリは、害虫を食べてくれる。)・イワガラミ・ミヤマハンノキ・ニガイチゴ・ヤブウツギ(太平洋側に育つ。
一方タニウツギは日本海側に育つ)・コウヤマキ(棺桶の材料)・アオキ(花と実同時に観察できる植物。他にカゴノキ、
シロダモ)・フタバアオイの花・チョウセンレンギョの花(おしべが長い)・シナレンギョ(めしべが長い)・
ニョイスミレ(別名:ツボスミレ)・ナガバノモミジイチゴの花・ナマヤナギの花・タチツボスミレ・
ナガバタチツボスミレ(茎葉が三角状、また葉裏が赤紫)他……

【高山植物園で観察した植物】

マムシグサ・エンコウソウ・ヒメカンアオイ・ユキモチソウ・ハシリドコロ・タツタソウ・チングルマ・
アカヤシオ・サンカヨウ・ヒュウガミズキ・オオバノエンレイソウ・カタクリ・ショウジョウバカマ・
シラネアオイ・オサバグサ・ホクリクネコノメソウ・ヒカゲツツジ・オオカニコウモリ・オオバキスミレ・
イワヤツデ

【所感】

春は植物観察には絶好の季節、多くの花々が五感を楽しませてくれた。高山植物園では中部の山や湿原に行かなければ
出会えないような花々を間近に見ることができた。



サンカヨウ



カタクリ



シラネアオイ

